

萩市企業景況調査

DI方式

2019年 1月～ 3月期 実績
2019年 4月～ 6月期 予測

《調査機関》
萩商工会議所

DI (ディフュージョン・インデックス) 方式とは?

DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

◎DI = (増加・好転など「良い」の回答割合)
- (減少・悪化など「悪い」の回答割合)
※設備投資は割合(%)

依然厳しい地域経済。人材の確保難が続く。

景況の概要

2019年4月実施の景況調査の集計結果は以下のとおり。(調査対象企業：萩市内60社、回収率90%)

生産・売上 前期比は建設業と小売業が増加、それ以外の業種は減少となった(平均▲29.6%)。前年同期比では建設業・製造業・小売業が増加、卸売業・サービス業・観光関連業は減少となった(平均▲14.8%)。今後(4～6月期)の見通しでは、建設業と小売業が減少と予測し、それ以外の業種は増加すると予測(平均11.1%)。

収益 前期比は、建設業が増加、小売業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲35.2%)。前年同期比は、製造業が増加、建設業が横ばい、それ以外の業種は減少(平均▲16.7%)。今後(4～6月期)の見通しでは、建設業と小売業が減少と予測し、それ以外の業種は増加と予測(平均5.6%)。

資金繰り 前期比は、建設業・製造業・卸売業が好転、小売業・サービス業・観光関連業が悪化(平均▲5.6%)。今後の見通しでは、サービス業が好転、観光関連業が横ばい、それ以外の業種は悪化と予測(平均▲9.3%)。

従業員数 全業種との人員不足という結果になっており、不足感が強い(平均44.4%)。

経営上の問題点 ①人材の確保難 37.7% ②需要の停滞 30.2% ③人件費等経費の増加、仕入価格の上昇、設備・店舗の老朽化7.5%の順となった

今後の業界動向 各業界の景気見通しは、全業種とも停滞と予測。特に建設業が▲66.7%と停滞指数が大きい。

景況に関する生の声 ■消費税増税前の影響で受注がやや増えた(住宅建築)。■働き方改革への対応で人件費が全体的に増加することを懸念(木製品製造)。■荒天による漁獲量の減少(水産卸、海産物加工)。■売上が季節や外部環境に影響されやすいため、地域全体の努力が必要(旅館)。■人手不足(大型店)。■仕入価格の上昇により厳しい状況が続く(燃料販売、機械製造)。■観光客の減少により売上が伸びない(水産卸、飲食業)。

項目 / 業種		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	観光関連業	平均	前年平均	前々年平均
生産・売上	前期比	55.6	▲55.6	▲66.7	12.5	▲55.6	▲60.0	▲29.6	▲31.0	▲44.8
	前年同期比	11.1	44.4	▲33.3	12.5	▲22.2	▲90.0	▲14.8	▲10.3	▲15.5
	2019年4月～6月期見通し	▲55.6	33.3	44.4	▲25.0	22.2	40.0	11.1	3.4	3.4
収益	前期比	33.3	▲44.4	▲66.7	0.0	▲44.4	▲80.0	▲35.2	▲27.6	▲20.7
	前年同期比	0.0	11.1	▲22.2	▲12.5	▲11.1	▲60.0	▲16.7	▲13.8	5.2
	2019年4月～6月期見通し	▲33.3	33.3	22.2	▲25.0	11.1	20.0	5.6	▲1.7	6.9
資金繰り	前期比	11.1	22.2	11.1	▲25.0	▲33.3	▲20.0	▲5.6	▲3.5	▲10.3
	2019年4月～6月期見通し	▲11.1	▲11.1	▲22.2	▲25.0	11.1	0.0	▲9.3	▲5.3	▲1.7
従業員数	2019年3月末	44.4	22.2	66.7	50.0	44.4	40.0	44.4	41.4	34.5
設備投資	(実績)	11.1	33.3	22.2	50.0	11.1	20.0	24.1	13.8	29.3
	(計画)	22.2	44.4	22.2	37.5	37.5	10.0	28.3	19.3	28.1
業界動向		▲66.7	▲33.3	▲50.0	▲62.5	▲44.4	▲40.0	▲49.1	▲26.3	▲25.9